

## 指定管理者制度導入施設 モニタリング結果報告書

### 1 公の施設の概要について

施設の概要	名称	秋川キララホール
	所在地	東京都あきる野市一丁目16番地1
	所管課	生涯学習推進課
指定管理者	名称	秋川キララホール運営共同事業体
	所在地	東京都あきる野市一丁目16番地1
	業務内容	1 文化ホール及びこれに附属する設備の使用に関すること。 2 市民の文化活動を推進するための事業に関すること。 3 文化ホール及び附属設備等の維持管理に関すること。 4 あきる野市教育委員会が必要と認める事業に関すること。 5 その他指定管理を行う上で必要な業務に関すること。
ホームページURL		<a href="http://akigawa-kirarahall.jp/">http://akigawa-kirarahall.jp/</a>
指定期間		平成25年4月1日から平成30年3月31日まで

### 2 施設の利用状況等について

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
開館等日数(日)	301	306	308	306	306
利用者(来客者)数(人)	63,258	71,513	75,007	68,551	72,164
前年度比(人)		8,255	3,494	△6,456	3,613
前年度比(%)		113.0	104.9	91.4	105.3
利用料金(売上)合計(千円)	20,964	19,165	22,256	18,937	20,836
前年度比(千円)		△1,799	3,091	△3,319	1,899
前年度比(%)		91.4	116.1	85.1	110.0

※その他、必要に応じて、施設の性格ごとに項目を追加する。

### 3 施設の収支状況について

(単位：千円)

項目		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
収 入	指定管理料	68,348	68,571	68,930	69,126	69,049
	使用料収入(売上)	20,964	19,165	22,256	18,937	20,836
	主催事業収入	9,276	7,515	13,269	11,953	11,782
	自主事業等収入	8,069	9,904	10,110	10,333	10,120
	共催事業収入	341	-	-	3,309	2,511
	その他の収入	1,592	2,344	3,065	2,502	2,613
	計	108,590	107,500	117,630	116,160	116,912
支 出	人件費	37,753	33,688	33,390	34,808	34,830
	施設維持管理費	29,685	28,674	27,517	25,755	27,305
	運営管理費	30,299	30,050	28,859	29,920	26,510
	自主事業関係費	13,711	14,514	15,250	16,684	18,982
	その他の支出	-	-	-	-	-
	計	111,449	106,927	105,016	107,167	107,627
収支(収入-支出)		△2,859	573	12,615	8,993	9,285

利用料金及び使用料収入については平成29年度内のホール使用について計上している。

#### 4 施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート（実施時期や具体的な方法など）
ホール利用者へ施設に関するアンケートと、主催・自主事業の内容についてのアンケートを実施しました。
利用者から寄せられた意見・苦情及び対応状況
主催事業の際に車椅子使用のお客様から、「開場時に混み合い身動きが取れなかった。」とのご意見がありました。職員と相談し、以後の公演から車椅子を利用されている方やお身体に不自由のある方にお声がけをし、希望者には開場5分前にご入場いただけるよう体制を整えました。
利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など（取組の内容、効果など）
まちづくり・支援育成事業の一環として昭和音楽大学と連携した音楽生涯学習講座を初めて実施したほか、あきる野ルピアと連携したワークショップやコンサートを行いました。また、アウトリーチコンサートを2回、無料で聴けるエントランスコンサートを5回実施したほか、レジデンシャル・アーティスト関裕子氏による初心者のためのピアノワークショップを開講し、音楽文化の創出を図りました。自主事業については利用者からの要望の高い、昭和歌謡・お笑い公演を共催事業として皆様にお届けしました。

#### 5 経費削減のための取組

具体的な取組内容
冷暖房や照明のオン・オフによる節電、またコピー用紙の裏紙使用を徹底する等、コスト削減に努めました。さらにホールスタッフの勤務時間を業務の繁閑に応じてきめ細かくシフトし人件費の抑制を図りました。

#### 6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価
平成29年度の使用料収入は、レコーディングや興行による貸館が増加し、平成28年度よりも200万円ほど増加となりました。事業については1公演（東京大衆歌謡楽団コンサート）がほぼ完売となったほか、共催事業を2本実施しました。支出については寒冷期による気温の低下が著しかったこと、また、ホール稼働率が前年よりも高かったことにより空調の利用頻度が高かったため、光熱水費は昨年よりも75万円の増加となりました。引き続き、節減をより一層推し進め、電力会社の見直し等を進めながら経費削減に努めてまいります。
今後もさらに身近に感じられるホールづくりを目指し、近隣施設や地域と連携し、ホールと市民が共同で作る音楽の街づくりを目指してまいります。その他、幅広いラインナップと魅力ある公演、広報宣伝活動に努め、アウトリーチやワークショップ等、地域に根差した取り組みを継続して実施してまいります。

#### 7 所管課による総合評価（太枠にS～Bの3段階で評価を記入）

市民サービスの向上
今年度も引き続き、無料のアウトリーチコンサート、エントランスコンサートを開催し、市民への音楽鑑賞の機会の拡大に努めており、市民サービス向上への取組が評価できます。また、レジデンシャル・アーティスト関氏によるワークショップや、音楽生涯学習講座により、市内の音楽文化の創出にも貢献しています。
経費削減の取組
寒冷が厳しい天候や、稼働率の増加の影響のため、昨年度よりも光熱水費が上昇しています。今後も一層の節電等に取り組み、経費を削減するよう努めてください。
業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価
使用料収入が昨年度よりも増加していること、安定した収支が得られていることは評価できます。券売の振るわない公演については、券売数向上のため、状況に応じた広報宣伝活動や計画的な情報発信を行うよう努めてください。

総合評価	<b>A</b>
------	----------

※評価基準

- S：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等よりも優れた指定管理業務を行っている。
- A：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。
- B：モニタリングチェックシートにおいて「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。